

ラ米諸国との経済関係を深める中国

国連ラ米・カリブ経済委員会 (CEPAL) がこのほど公表した報告書によると、ラ米諸国と中国の経済関係は中国の目覚ましい経済発展に伴い緊密化の度合いを深めている。概要は次の通りである。

2005年上半期のデータによると、中国は、チリ、ペルーにとって第2番目、ブラジルにとって第3番目の輸出相手国となった。ラ米諸国は、中国にとりさまざまな製品の供給源となっている。輸入に占めるラ米製品の割合は、魚粉 (81.4%)、大豆 (60.7%)、ぶどう (60.2%)、砂糖 (49.3%)、銅 (93.4%)、ニッケル (35.4%)、鉄 (20.6%)、木材・パルプ (21.2%) となっている。

中国の天然資源の需要が持続すると南米諸国の交易条件に好影響をもたらすであろう。ラ米諸国と中国との間で多くの貿易・投資協定が締結されている。貿易協定の締結は、互いに未開発となっている輸出市場への進出を視野に入れている。両者の貿易品目をみると、中国の対ラ米輸出は工業製品が主体となっているのに対し、ラ米の対中輸出は天然資源や農産物等の特定の一次産品が主体となっている。これは、ラ米諸国に輸出品目の多様化と

付加価値の高い輸出製品の育成が課題となっていることが分かる。

中国の対ラ米輸入は、1990年の15億ドルから2004年には216億6,800万ドルに達し、飛躍的な成長を遂げている。2000年から2004年は年率ベースで42%増の成長であり、全世界からの輸入の伸び (26%) を大きく上回っている。近年のラ米・カリブおよびアジア・太平洋地域間の貿易は、中国のプレゼンスが大きくなっていることが特徴付けられる。これまでは、日本がアジア・太平洋地域の最大の貿易相手国であったが、今日ではその地位が中国に取って代わられている。

CEPALは、ラ米諸国と中国の関係を強化する必要があると指摘している。中国は、その巨大な市場規模に加え、経済成長や地方の産業再編に伴いインフラ整備やエネルギーの需要が高まり食料の需要も増加することから、天然資源の輸出国との関係強化が欠かせない。2004年に胡錦濤国家主席が南米訪問を行った目的の一つは、中国製品のより有利な輸出環境を整備することであった。中国は、EUとメルコスール、アンデス共同体との自由貿易交渉を先取りする形で、EUや米国製品との

表 1. ラ米各国の輸出全体に占める対中輸出の推移

	輸出相手国別でみた 中国の順位		輸出全体に占める 対中輸出の割合 (%)	
	1990 年	2004 年	1990 年	2004 年
チリ	30	3	0.40	10.4
ペルー	16	2	1.70	10.2
キューバ	5	4	4.30	8.2
アルゼンチン	14	4	2.00	7.7
ブラジル	18	4	1.20	5.6
ウルグアイ	8	6	3.90	3.8
パラグアイ	46	7	0.00	2.7
コスタリカ	32 ^a	10	0.19 ^a	2.6
ボリビア	52 ^a	15	0.00 ^a	1.0
ベネズエラ	51	14	0.00	0.8
コロンビア	60	21	0.03	0.8
エクアドル	81	19	0.00	0.7
メキシコ	27	15	0.30	0.3

出典：CEPAL

注：注：^a =1991年のデータ

表2. ラ米・カリブ地域の貿易におけるアジア・太平洋の割合

(単位: %)

	ラ米・カリブの輸出		ラ米・カリブの輸入	
	1999 年	2003 年	1999 年	2003 年
アジア・太平洋	5.8 (100)	7.6 (100)	11.6 (100)	16.6 (100)
中 国	0.7 (12.7)	2.9 (37.6)	1.9 (16.2)	5.1 (30.6)
日 本	2.4 (41.8)	1.8 (23.2)	4.2 (36.6)	4.4 (26.2)
韓 国	0.7 (12.5)	0.9 (12.1)	2.0 (16.9)	2.2 (13.5)

出典: CEPAL

注: 各マス目左側の数値は、全輸出(入)に占める当該地域・国の割合を示す。

競争に対応するため、自国製品にとって有利な協定の締結を必要としている。

中国のラ米諸国に対するアプローチはさまざまな形で行われており、国営企業と合併や科学・技術分野の協定締結など多岐にわたっている。そして中国は、インフラおよびエネルギー部門への投資を約束している。中国の外国直接投資の大半は近隣のアジア諸国向けであるが、2004年にはラ米諸国は8億8,900万ドルを受け入れている。2003年末時点における中国の対ラ米投資残高は、同国の対外投資残高の14%に当たる46億2,000万ドルに達した。中国の対ラ米諸国向け投資分野は、エネルギー（ブラジル、コロンビア、ベネズエラ）、鉱業（チリ、エクアドル、ペルー、ベネズエラ）、インフラ（アルゼンチン、ブラジル）が中心となっている。

中国は、天然資源の需要増でラ米諸国との経済関係が緊密化しているが、緊密化の度合いは国毎に異なっている。中米・カリブ諸国との関係は相対的に低調である一方、国際場裏での共同スタンスをとるブラジル、資源の調達先となる南米諸国との関係が近年緊密化の度合いを深めている。カリブ諸国との関係については、中国承認国の増加による外交関係の強化、経済協力の実施、中国のカリブ開発銀行(CDB)加盟等により環境に変化が生じてきている。2005年には、中国とカリブ諸国の外務省高官による会合が実現している。今後、カリブ地域との関係は徐々に深まっていくものと思われる。

2004年には中国の政府要人がさまざまな機会にラ米諸国を訪問した。胡錦濤国家主席のアルゼンチン、ブラジル、チリ訪問をはじめ、副首相や閣僚らが企業の代表団を帯同して多くの国を訪れた。なお、胡錦濤国家主席は

2005年に、国連総会出席の機会に際しメキシコを訪問している。他方、ラ米諸国からは、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、ペルー、ベネズエラの大統領が中国を訪問している。

中国との二国間関係はそれぞれの国が抱える事情によって異なっている。

チリにとって自由貿易協定は、投資の足かりであり、ラ米・アジア間の貿易の架け橋になる戦略の第一歩である。チリは、すでに韓国、シンガポール、ニュージーランドと自由貿易協定を締結しており、最近ブルネイとも締結したところである。

ブラジルにとって中国は、インド、ロシアと共に国際場裏における重要な同盟国である。G20を構成するブラジルと中国は、ドーハラウンドの交渉で実績を上げてきた。G20の活動は、通商交渉プロセスにおけるキーファクターとなっている。ブラジル・中国の両国は、投資、知的財産、サービスといった多国間の通商交渉の協議事項について同じスタンスをとっている。さらに両国は、一次産品および工業製品に付加価値を高めるための戦略同盟の形成および技術移転を伴う投資を促進している。

ベネズエラは、中国との自由貿易協定に関心を示している。世界第5位の石油輸出国であるベネズエラは、輸出先および同国に対する投資国の多角化を図り、対米依存からの脱却をめざしている。対中接近は、活動の幅を広げることとなる。それゆえに中国は、鉱業・石油部門での合弁に関心を有している。

コロンビアは、他の南米諸国とは異なった状況にある。コロンビアは、中国が世界に輸

出している中間財の多くを生産しており競争関係にある一方、ベネズエラやエクアドルのように鉱物・石油の埋蔵量を有していない。同国の関係者は、中国と競争するためには優先分野を策定し、競争力の改善、製品の差別化を図ることが必要であると指摘している。2005年のウリベ大統領訪中の際には、両国は各種の協定を締結した他、中国からの繊維、インフラ、石油部門への投資の約束を得ている。

ペルー・中国両国政府の共同声明および本年署名された合意文書によると、右の成果は天然資源、鉱物、野菜・青果の輸出増（ぶどうの対中輸出、りんごの対ペルー輸出等）、および観光の開発につながるものと期待されている。

アルゼンチンと中国の関係をみると、胡錦濤国家主席のアルゼンチン訪問、そしてキルチネル大統領も訪中しており、要人の往来は活発である。キルチネル大統領の訪中時には、大豆、精肉、その他加工食品の対中輸出の促進につき合意している。



表 3. ラ米 5 か国からの中国の輸入 (2004年)

(百万ドル)

	アルゼン チン	ブラジル	チリ	キュー バ	ペルー	ラ米 5 か国か らの輸 入の合 計	全輸入額	輸入全体 に占める ラ米 5 か 国からの 輸入の割 合
大豆	2,555	2,619	0	0	0	5,174	8,528	60.7%
銅	12	39	2,787	7	505	3,349	8,490	39.4%
鉄	25	3,155	168	0	256	3,604	17,474	20.6%
木材・パルプ	53	521	349	0	4	928	4,374	21.2%
魚粉	17	0	103	0	502	621	764	81.4%
革	103	300	0	0	0	404	2,783	14.5%
自動車部品	3	101	0	0	0	104	7,305	1.4%
砂糖	0	0	0	111	0	111	225	49.3%
錫	0	0	0	0	122	122	437	27.9%
亜鉛	0	0	8	0	7	15	171	8.6%
プロパン・ブ タン	22	4	0	0	0	27	2,397	1.1%
メタノール	0	0	28	0	0	28	348	7.9%
ぶどう	0	0	41	0	0	41	67	60.2%
ニッケル	0	0	0	45	0	45	128	35.4%
その他金属	0	0	1	28	0	29	259	11.1%
小 計	2,790	6,740	3,484	191	1,395	14,601	53,749	27.2%
その他産品	464	1,933	182	4	128	2,711	507,479	0.5%
合 計	3,255	8,673	3,667	195	1,523	17,312	561,229	3.1%

出典：CEPAL

表 4. 中国：主要産品の需給

(%)

	生産 (注)	消費 (注)	輸入 (注)	輸出 (注)	消費／生産比 率 (%)	消費の世界 ランキング
石 炭	41.8	38.6	…	13.7	93.8	1 位
鉄鉱石	22.8	36.2	27.6	…	158.6	1 位
鉄 鋼	37.1	27.6	…	13.5	40.4	1 位
鉛	27.2	27.1	3.1	3.5	99.8	1 位
亜 鉛	23.6	25.9	6.8	13.0	56.1	1 位
アルミニウム	25.8	22.8	2.6	13.5	86.7	1 位
錫	22.8	21.0	5.6	…	90.5	2 位
銅	25.0	19.6	2.6	29.9	77.2	2 位
ニッケル	12.9	19.6	25.3	…	157.3	1 位
大 豆	18.3	18.8	7.1	2.7	102.5	1 位
穀 物	8.6	16.8	34.3	0.4	165.6	2 位
肉	7.6	10.6	21.7	3.9	144.4	3 位
バナナ	9.0	9.7	3.0	0.4	106.0	3 位
天然ガス	4.3	8.3	7.1	0.8	191.5	2 位
石 油	7.4	8.1	2.1	1.0	107.8	2 位
砂 糖	1.5	1.5	…	…	95.6	14位

出典：CEPAL

注：生産、消費、輸入、輸出は、世界全体に占める割合（％）を示す。